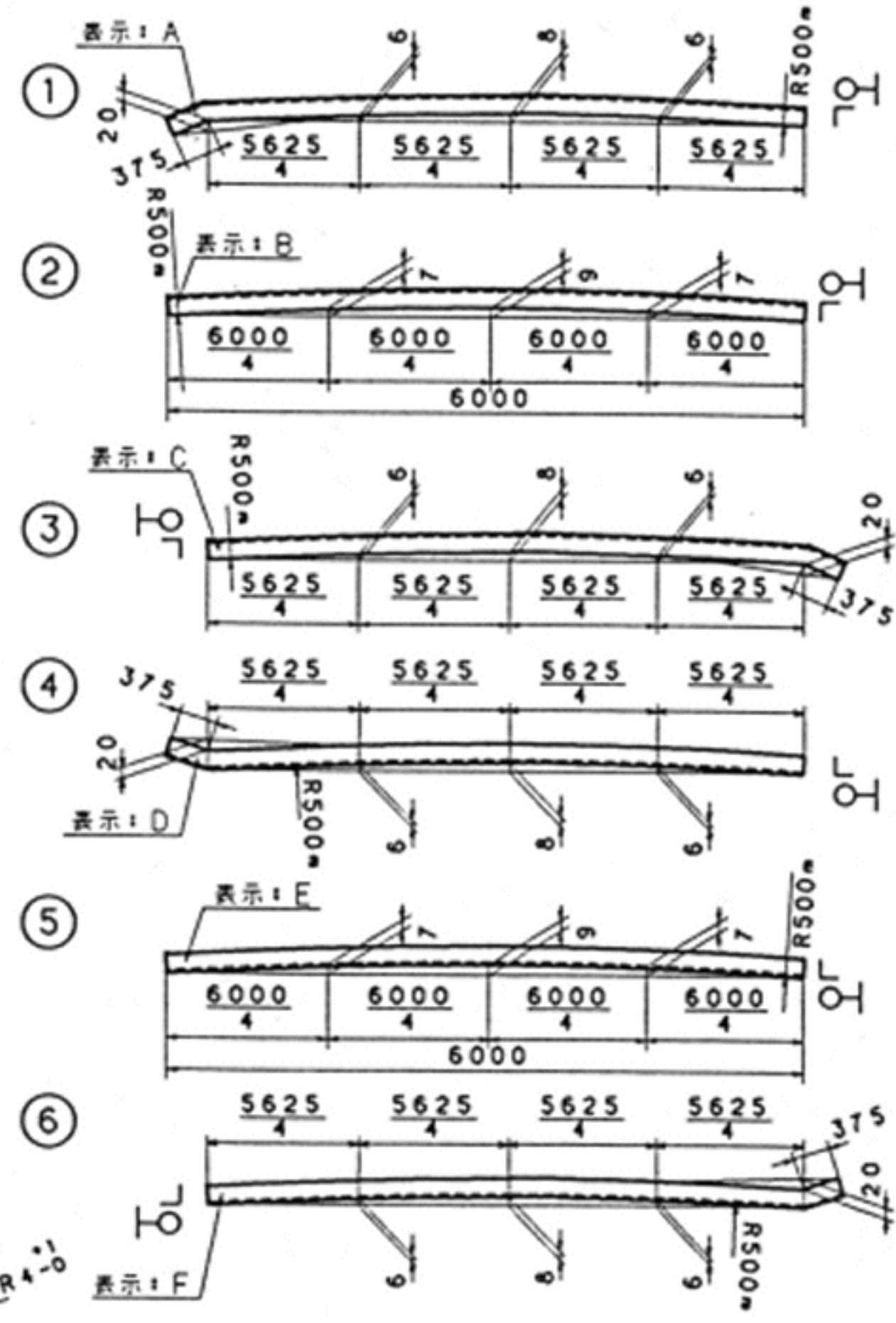
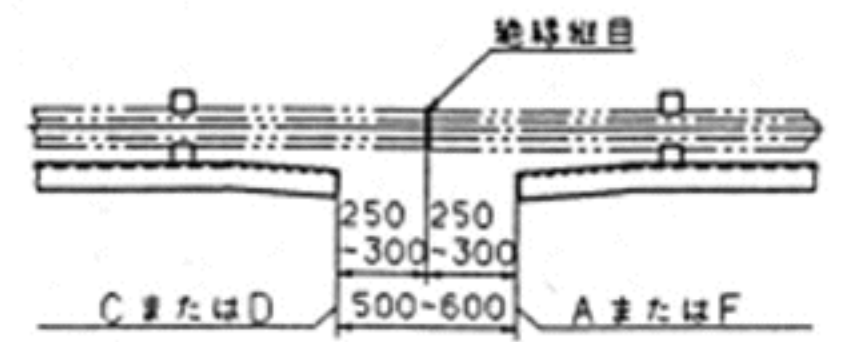


表示の大きさは約38mm角
表示は左端上面に白ペイントで表示すること。

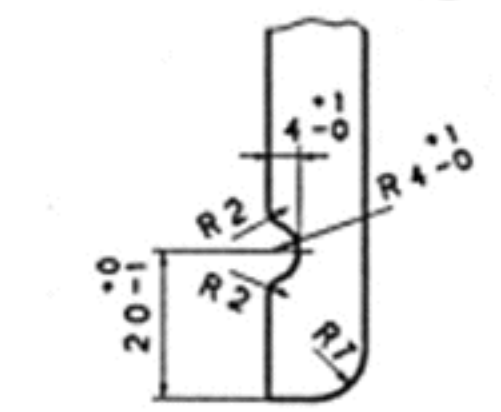


- 敷設に対する注意(参考)
- まくらぎ層に取付装置を原則として一箇所おきにまくらぎに片寄せ取付すること。
 - ガード材端には、必ず取付装置を取付すること。ただし、CまたはDおよびAまたはFは導入部(端から375mm)を外したところに取付すること。
 - ボルトの締付トルクは、1500kg-cmで行うこと。
 - 絶縁継目箇所は、下図の用に敷設すること。



- ガード材の遊隙は、5mmで設定すること。
- ガード材はR500mで曲げてあるが、敷設曲線に依り曲げること。

明号	品名	材質	数量	記号	備考
1	A	ガード材	SS400	1	L90x90x13x6000
7	A	取付装置		6	GTGD-4
2	B	ガード材	SS400	1	L90x90x13x6000
7	B	取付装置		6	GTGD-4
3	C	ガード材	SS400	1	L90x90x13x6000
7	C	取付装置		6	GTGD-4
4	D	ガード材	SS400	1	L90x90x13x6000
7	D	取付装置		6	GTGD-4
5	E	ガード材	SS400	1	L90x90x13x6000
7	E	取付装置		6	GTGD-4
6	F	ガード材	SS400	1	L90x90x13x6000
7	F	取付装置		6	GTGD-4



ガード材の溝の形状
(ガード材の全長にわたり取付すること)

名	脱線防止ガード	GTG-5
種	PCまくらぎ	50N区適用
別	脱線防止ガード	JRSW 02701-
	2枚の内1枚	01AW-01-1997
西日本旅客鉄道株式会社		平成9年3月18日